

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

菅原小	学校	児童数	110
-----	----	-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.67	17.07	34.23	41.39	43.55	9.73	143.25	21.86	50.22
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	16.36	16.59	38.72	39.38	33.28	9.96	139.37	14.02	52.71
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

5年生を対象とした調査より、「体力合計点」は男女ともに全国平均より低く、女子は大阪市平均は上回るものの、男子は大阪市平均よりも低い結果となった。昨年度は、男女ともに大阪市平均は上回っていたため、男子は下がる結果となってしまった。「運動やスポーツをすることは好きですか」に対する肯定的な回答も、男女ともに全国や大阪市の平均より低く、昨年度よりも下がる結果となってしまった。「1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合」も、男子は全国平均ぐらいだが、女子は全国や大阪市平均よりも多い。

体力を向上させるには、まずは体育の授業や体を動かすことを楽しいと感じられるようにするとともに、朝ごはんを食べたりゲームやスマホを見る時間を減らしたりするなど、家庭と連携して生活習慣を整えることが大切である。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

楽しく運動の機会を増やすために、「みんな遊び」や音楽を使った体感を鍛える運動を取り組んできた。また、寒くなり体を動かすのが嫌になる時期に「なわとび週間」や「かけあし週間」を行い、がんばりカードを配布するなど工夫した。

運動やスポーツをすることが好きでない子は、運動時間も短くなり、さらに苦手意識も大きくなるという悪循環に陥ってしまうので、「誰もが楽しい」体育の授業を目指して取り組んでいきたい。

以前から課題としてあがっている「反復横跳び」と「長座体前屈」については、男女ともに全国平均や大阪市平均を上回った。「運営の計画」の指標の1つにして、記録を年2回とるなど全校をあげて取り組んできた成果だと感じる。

来年度は、スマールステップでわかる楽しさ、自分の伸びに注目してできる楽しさ、仲間と協力する楽しさなどを味わわせ、運動好き・体育好きな子どもたちを増やしていくたい。

